

Reply from the Author

虚血性脳血管障害の抗血栓薬による治療継続の重要性

伊藤 康幸 橋本洋一郎*

Importance of continuity and precise control of taking oral antithrombotic agents with cerebrovascular disease

Yasuyuki Ito, M.D. and Yoichiro Hashimoto, M.D.

Department of Neurology, Kumamoto City Hospital

(臨床神経 2011;51:436)

2011年3月3日

拝啓

先に本誌第51巻1号に掲載された「虚血性脳血管障害発症前の抗血栓薬内服状況の検討」(臨床神経 2011; 51: 35-37)¹⁾に対し池田 憲先生からご意見とご質問をいただき有難うございました。

虚血性脳血管障害発症時のワルファリン内服患者は21名(初発9例, 再発12例), 男性15例, 女性6例, 平均年齢74.1±10.3歳(58~93歳, 中央値75.5歳)で, 臨床病型は心原性脳塞栓症が15例(TIA3例をふくむ)と大部分でした。発症時PT-INRは平均1.78±1.33(0.95~7.27, 中央値1.34)で, PT-INR≥1.6は7例に過ぎず, さらに推奨PT-INR(70歳未満2.0~3.0, 70歳以上1.6~2.6)だったのは5例のみでした(2例は70歳未満で1.6≤PT-INR<2.0)。70歳以上で推奨PT-INR 1.6~2.6でも, 2例の発症時PT-INRは1.78, 1.73と, 1.6~2.0で発症していました。

一方, 初発・再発の別では初発群182例, 再発群84例で, 年齢は初発群72.9±11.4歳, 再発群75.0±11.5歳, 男女比は初発群99例:83例, 再発群55例:29例でしたが, 発症年齢・性別に関して両群間に有意差はありませんでした($p=0.245$, $p=0.089$)。また, 心血管危険因子では高血圧は再発群で多い傾向がありましたが有意差はなく($p=0.057$)。糖尿病, 脂質異常症, 喫煙, 冠動脈疾患・末梢動脈疾患の既往いずれも有意差はありませんでした。なお, 初回脳梗塞の臨床病型は初回発症時当科へ入院した患者が少なく, 検討できませんでした。

再発群について, 池田らの報告²⁾では再発例は全体の19.3%ですが, われわれの検討¹⁾では31.6%でした。また, 臨床病型について, 池田らの報告ではラクナ梗塞35%, アテローム血栓性脳梗塞13%ですが, われわれの検討ではそれぞれ19%, 26%と逆転しています。一方, 久山町研究³⁾では初発から1

年間に10%, 10年間で50%が再発しますが, 池田らの報告にある初発から再発までの平均期間3.1年をふくめ初発から5年程度までは後者が前者の2倍程度再発しやすくなっています。池田ら, われわれいずれの報告でもワルファリンコントロールは不良であったことから, 再発群の比率の違いは患者層の違いにあり, アテローム血栓性脳梗塞患者が多かったわれわれの検討で再発率が高値であったと考えます。池田らとわれわれの検討では再発群の頻度がことなり, いずれも一施設の検討で両者ともバイアスが掛かっている可能性があるため, 今後, 地域連携バスなどを使い, 多施設でデータを出す仕組みが必要と考えます。

池田らが述べているように, 再発予防には抗血栓薬内服継続, 心房細動患者ではワルファリン内服, ワルファリン内服患者では至適治療域内での厳格なコントロールが重要で, 全国規模で医療関係者と患者の双方へ啓発をおこなう必要があると思っています。

敬具

文 献

- 1) 伊藤康幸, 光藤 尚, 山本文夫ら. 虚血性脳血管障害発症前の抗血栓薬内服状況の検討. 臨床神経 2011;51:35-37.
- 2) Hirayama T, Nakamura Y, Yoshii Y, et al. Clinicoradiological features of recurrent ischemic stroke: healthcare for poststroke patients. J Multidiscip Healthc 2010;3:97-101.
- 3) Hata J, Tanizaki Y, Kiyohara Y, et al. Ten year recurrence after first ever stroke in a Japanese community: the Hisayama study. J Neurol Neurosurg Psychiatry 2005;76:368-372.

*Corresponding author: 熊本市市民病院神経内科 [〒862-8505 熊本県熊本市湖東1丁目1-60]
熊本市市民病院神経内科
(受付日: 2011年3月3日)